

ぼうはん栃木

発行

(公社)栃木県防犯協会

栃木県風俗環境浄化協会

宇都宮市今宮4-14-5

電話 028(659)3 0 4 5

FAX 028(659)3 0 8 9

金賞作品



栃木市立栃木西中学校 二年 白石 姫子



那須烏山市立境小学校

二年 佐藤 葵依
六年 佐藤 陽葵

防犯ポスター・地域安全マップコンクール



作新学院高等学校 二年

松澤 康花



那須町立伊王野小学校

六年 薄井 凛

全国地域安全運動

10月11日(日)～10月20日(火)

運動重点

- 子どもと女性の犯罪被害防止(全国重点)
- 特殊詐欺の被害防止(全国重点)
- 自動車盗の被害防止(県重点)



「防犯マスコット」
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE



風俗環境浄化協会
シンボルマーク

No.163号

栃木県防犯協会設立30周年 記念特集号

全国地域安全運動の実施

実施期間

平成二七年一〇月二一日(日)から

一〇月二〇日(火)までの二〇日間

運動重点

子どもと女性の犯罪被害防止

特殊詐欺の被害防止

自動車盗の被害防止

スローガン

みんなでつくろう 安心の街



一 子どもと女性の犯罪被害防止

★ 子どもを一人きりにしないようにしましょう！地元の防犯パトロール隊などと連絡を密にして、安心して子ども達が登下校できる環境の構築に努めてください。

★ 子ども一〇番の家や商店など、いざという時に逃げこめる場所を確認しておきましょう。



★ 空き家や見通しの悪い公園、人気のない場所や道路などは、犯罪が起こりやすい場所です。このような場所には、できる限り近寄らないようし、解消のために自治体や警察にも相談してください。

★ スマホを操作しながら、音楽を聴きながらなどといったいわゆる「ながら歩き」は大変危険です。外を歩く時には周囲の状況に気を配り、なるべく人通りが多く、明るい道路を選ぶようにしましょう。

★ 防犯ブザーは目立つところに取り付けるとともに、使用方法や電池残量の確認をしておきましょう。

二 特殊詐欺の被害防止

★ 手口は日々変わっていて、オレオレ詐欺の場合、息子などの知人を装って直接受け取りに来る手口や東京などに呼び出す手口が主流です。常に最新の手口を知るように努めてください。

★ 「電話番号が変わった」「必ず儲かる」「レターパックや宅配便で現金を送れ」「名義を貸してほしい」「還付金があるからATMに行け」など、騙すためのキーワードに注意してください。

★ 現金を要求する内容は、「詐欺」だと判断して、十分な確認と家族や警察への相談を！

被害者のほ

とんどは、手

口を知ってお

り、「私は大丈夫！」と思っ

ていました。



★ 現在、金融機関では高額引き出しに関するお客様への声かけ・確認を行っています。皆様大切な財産を守るため、ご協力をお願いします。

三 自動車盗の被害防止



★ 栃木県では、県南地区を中心に毎日二台前後の車が盗まれています。特に、ユニック車や大型ダンプの盗難が目立ちます。

★ 愛車を離れる際には、短い時間でも施錠をし、鍵の保管も徹底してください。イモビライザーやハンドロック、警報装置などの盗難防止装置を使用し、被害を防止してください。

★ 駐車場には門扉や施錠設備、センサーライト、警報装置などの侵入防止措置を講じて被害に遭いにくい環境を整えましょう。

★ 車上ねらいも多く発生しますので、車を離れる時には、車内には何も置かないようにしてください。



栃木県防犯協会では、栃木県警察本部と共催で、平成二十七年全国地域安全運動の広報啓発を目的とした防犯ポスターと地域における犯罪や交通に関する危険箇所等の学習を目的とした地域安全マップを県内の小・中・高校生を対象に募集しました。

その結果、防犯ポスターは、四、四一七点、地域安全マップは、一、三三八点の応募があり、去る九月一五日に栃木県警察本部で審査した結果、次のとおり入選作品が決定しました。

防犯ポスターの金賞作品は、地域安全運動の広報用ポスターとして、県内各地に掲出されます。

防犯ポスター・地域安全マップ コンクール審査結果

受賞

おめでとうございます

防犯ポスター入選者

金賞

小学生の部

那須町立伊王野小学校 六年 薄井 凛

中学生の部

栃木市立栃木西中学校 二年 白石 姫子

高校生の部

作新学院高等学校 二年 松澤 康花

銀賞

小学生の部

下野市立緑小学校 五年 福田 彩乃

中学生の部

さくら市立喜連川中学校 二年 田代 陽

高校生の部

佐野日本大学高等学校 三年 広川 亜加梨

銅賞

小学生の部

小山市立小山第一小学校 五年 白石 瑛大

矢板市立安沢小学校 六年 長田 愛可

日光市立日光小学校 五年 神山 由羽

中学生の部

宇都宮市立星が丘中学校 三年 瀧本 和

地域安全マップ入選者

金賞

那須烏山市立境小学校 二年 佐藤 葵依

足利市立西中学校 三年 濱崎 紀子

佐野市立北中学校 三年 大橋 樹季

県立小山市城南高等学校 一年 水出 有咲

佐野日本大学高等学校 三年 渡辺 文佳

佳作

小山市立大谷東小学校 六年 落合 颯唯

さくら市立氏家小学校 五年 芳村 直樹

さくら市立熟田小学校 五年 黒尾 ののか

中学生の部

宇都宮市立上河内中学校 一年 小林 愛華

益子町立益子中学校 三年 飯山 太陽

茂木町立茂木中学校 三年 黒崎 栞里

高校生の部

作新学院高等学校 二年 天 笑留

県立宇都宮南高等学校 一年 郷間 美海

那須烏山市立境小学校 六年 佐藤 陽葵

真岡市立真岡小学校 三年 三村 都徳

那須烏山市立荒川小学校 六年 玉野 颯大

那珂川町立小川小学校 三年 東海林 真緒

佳作

日光市立日光小学校 一年 深谷 果蓮

那珂川町立馬頭小学校 三年 松山 果愛

全国地域安全運動 推進会議の開催

一〇月二日(日)から実施される全国地域安全運動を効果的に推進するため、八月二四日に警察本部会議室において、全国地域安全運動推進会議を開催しました。



会議は、栃木県、各地区防犯協会事務担当者らが出席し、警察本部の高く生活安全企画課長の挨拶に続いて仲山対策官から、最近の治安情勢と今後の犯罪抑止対策の方向性について説明がありました。

その後、古橋犯罪抑止担当係長から今回の運動の重点項目の説明や具体的な行事例の紹介があり、会議出席者の意思統一を図りました。

〓三〇周年〓



栃木県防犯協会設立三〇周年に寄せて

栃木県防犯協会長 須藤 稔

栃木県防犯協会設立三〇周年の節目に当たり一言御礼申し上げます。

当協会は、昭和三四年に任意団体として出発しましたが、昭和六〇年五月に社団法人として認可、設立され、同年には「風俗環境浄化協会」の指定を受け、風俗環境の浄化、青少年の健全育成の活動にも取り組んできたところです。

また、平成二五年四月には、新公益法人制度に基づく公益認定を受け、公益社団法人として新たにスタートし、今日に至っております。この間、一貫して「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに、県、警察のご指導のもと、県内の各地区防犯協会、関係ボランティア団体の皆様と共に、各種防犯活動を推進してまいりました。

お陰さまで、刑法犯認知件数も平成一五年のピーク時の約四万件から、平成二六年には約一万六千件と、一一年連続で減少してまいりました。

これも、県、警察のご協力をはじめ、各地区防犯協会、各種ボランティア団体の皆様の日々のご精励の賜と、改めてここに感謝申し上げます。

しかしながら、最近では、女性や子どもが被害になる事案や、高齢者が被害となる特殊詐欺が多発し、更には社会がサイバー犯罪の脅威にさらされるなど、今後もうした犯罪の発生が危惧されるどころであり、県民の体感治安の回復も道半ばと感じております。

こうしたなか、平成三二年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、国におきまして、我が国のよき伝統である治安の良さを一層確固たるものにしようと、更なる防犯対策の向上を目指そうとしているところであり、各県防犯協会にも大きな期待が寄せられているところでございます。

栃木県防犯協会も、こうした課題に対応するため、これまでの三〇年にわたり培ってきた経験に基づき、今後一層精進しようと決意を新たにしているところでございますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。御礼のごあいさつとさせていただきます。

三〇年間本当にお世話になりました。そして今後ともよろしくお願い申し上げます。



栃木県防犯協会設立三〇周年を祝して

栃木県警察本部生活安全部長 池澤 文雄

栃木県防犯協会の設立三〇周年に当たり、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和六〇年に社団法人として設立されて以来、地区防犯協会はもとより警察との緊密な連携の下、防犯思想の普及・啓発をはじめ、地域安全運動の推進、防犯ボランティアへの活動支援、青少年の非行防止と健全育成、風俗環境の浄化など様々な活動を通じて、安全で安心な住みよいまちの実現に大きく寄与されてこられたことに對しまして、心から敬意を表します。

さて、栃木県の犯罪情勢は、刑法犯の認知件数がピークとなる平成一五年に四万件を超えて以降一一年連続で減少させることができて、平成二六年には平成初期と同水準の約一万六千件余りとなりました。これは、正に官民挙げての総合的な犯罪抑止対策の結晶であり、特に、県内の約八万人おられる防犯ボランティアの方々の地域に根ざした活動や企業・団体など地域・職域における自主防犯活動の賜物と考えております。

一方、子どもや女性が被害者となる犯罪、高齢者に対する特殊詐欺、危険ドラッグやサイバー犯罪など治安に対する新たな脅威が日々発生し、県民の体感治安は犯罪総数の減少と同水準には至っていないのも現状であります。

このような厳しい情勢の中、警察といたしましては、県民一人ひとりが真に安全で安心に暮らすことができる住みよいまちの実現のため、犯罪抑止活動と検挙活動に全力で邁進する所存であります。

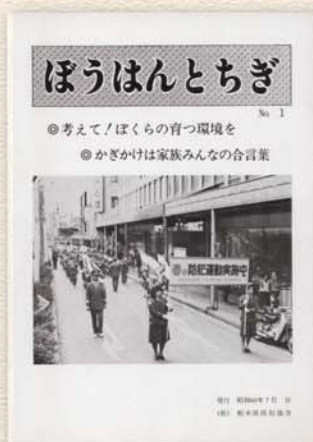
貴協会におかれましては、引き続き県民、自治体、関係企業・団体等はもちろん警察との連携を一層強固なものとされ、栃木県の安全・安心の確保と防犯意識の更なる浸透のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、栃木県防犯協会のますますのご隆盛と地区防犯協会、防犯ボランティアの皆様をはじめとする関係者・企業・団体のご活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



ほうはん栃木の今昔 ～表紙から～

第1号
(昭和60年)



第23号
(平成2年)



第35号
(平成5年)
(本号からカラー印刷)



第44号
(平成7年)



第77号
(平成12年)



第106号
(平成17年)



第136号
(平成22年)



第160号
(平成27年)



公益社団法人 栃木県防犯協会 役員 紹介

役 職	氏 名	備 考
会 長	須 藤 稔	代表 理事
副 会 長	古 口 達 也	代表 理事
理 事	伊 澤 幸 一	
	蓼 沼 初 枝	
	五十嵐 弘	
	橋 本 源一郎	
	佐 藤 佳 正	
	高 橋 秀 夫	専 務 理 事
監 事	山 崎 浩 之	
	渡 辺 和 枝	

栃木県防犯協会の歩み

昭和34年 9月	任意団体として栃木県防犯協会を設立
昭和60年 5月	社団法人として栃木県防犯協会を設立
6月	栃木県公安委員会から「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」による「風俗環境浄化協会」の指定を受ける
9月	自転車防犯登録業務を開始
昭和62年 3月	栃木県遊技業防犯協力会とAMマーク貼付事業を開始
10月	栃木県防犯連絡協議会連合会を設立
平成 3年 3月	栃木県幼稚園・保育園等防犯交通連絡協議会連合会を設立
平成 5年 6月	幼児誘拐防止巡回指導事業を開始
	防犯教育車「まもる号」を導入
9月	カラオケ事業所に対する管理者講習を実施
平成 6年 6月	改正自転車法により栃木県公安委員会から防犯登録団体としての指定を受ける
平成 7年 4月	地域安全パイロット地区への支援活動を推進
平成10年11月	栃木県被害者支援連絡協議会へ参加
平成11年12月	栃木県銃器対策推進本部に参加
平成14年 4月	緊急雇用対策事業による防犯パトロール隊を運用(~16年度)
平成19年11月	栃木県防犯協会女性部を設置
平成20年 4月	栃木県遊技業防犯協力会とTPSマーク貼付事業を開始
平成21年 4月	緊急雇用対策事業による防犯パトロール隊を運用(~23年度)
10月	防犯ボランティア地域交流会を開催
平成22年11月	栃木県防犯協会女性部が茨城・群馬・栃木三県合同研修会を主催県として日光市で開催
平成24年10月	臨時総会を開催。新公益社団法人への移行に向け、新定款案、新役員案等を可決。栃木県知事に対し公益社団法人認定申請
平成25年 3月	栃木県知事から公益社団法人の認定書が交付される
4月	公益社団法人として設立登記
11月	女性部が三県合同研修会を主催県として那須町で開催
平成26年 4月	特殊詐欺被害防止に向けたチラシ・FM放送等広報活動の展開
平成27年 4月	自転車防犯登録手数料改定と事務処理体制強化

みんなで つくろう 安心の街

今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします



明を受けま
したが、部
員一同改め
て当時の事
件に思いを
馳せた研修
会でした。



栃木県防犯協会 女性部の活動

日光市大沢地区研修会

六月二六日(金)、日光市大沢公民館において、いわゆる今市事件を機に結成された大沢ひまわり隊を始め、地域のボランティア活動の現状を知るための研修会を開きました。

研修会では、大沢小学校の大塚校長先生、ひまわり隊の粉川初代会長、日光市大島生活安全課長、今市警察署の員生活安全係長を説明者として、これまでの経過や現在の課題について貴重なお話を伺うことができました。

その後、事件の現地視察も行い立木の伐採等現在の環境改善の様子や緊急通報装置の設置状況の説明を受けましたが、部員一同改めて当時の事件に思いを馳せた研修会でした。



ふれあい警察展参加

七月一八日(土)宇都宮市オリオンスクエアにおいて、栃木県警察ふれあい展が開催され、女性部員が防犯コーナーにおいて特殊詐欺防止広報用うちわを来場者に配布し、被害防止を訴えました。



警察航空隊研修会

九月二日(水)宇都宮市内の栃木県警察航空隊において研修会を開き航空隊の発足当時から、現在の警察ヘリ「なんたい」の運用状況まで、航空隊柏田管理官のお話を伺うことができました。

逃走車両の追跡や、山岳遭難救助、事件広報など幅広く活躍している「なんたい」に部員一同大変心強い思いをした研修会でした。



栃木県防犯協会設立30周年記念

防犯ボランティア交流会の開催

主催／栃木県防犯協会 後援／栃木県・県警察本部

- ◆日 時／平成27年12月5日(土) 13:30～16:00
- ◆場 所／宇都宮市野沢町 男女共同参画センター ホール
- ◆内 容／ボランティア団体、学生ボランティア活動事例発表

★見学希望の方は事務局まで申込み下さい。

TEL.028-659-3045



地区防だより



佐野市防犯協会では、佐野警察署、佐野市、地元自主防犯団体ボランティアと合同で、六月二十五日(月)にイオンモール佐野新都市店一階セントラルコートにおいて、佐野市「特殊詐欺撲滅の日」キャンペーンを実施しました。

当日は、ちびっこ警察隊(園児)による被害防止の呼びかけ、特殊詐欺撃退機器の展示、特殊詐欺防止検定、チラシの配布をするなど被害防止を呼びかけました。

佐野市防犯協会

「特殊詐欺撲滅の日」県下一斉キャンペーン



那須塩原市、那須町では、那須塩原警察署と合同で、六月五日(月)「特殊詐欺撲滅の日」に県下一斉キャンペーンを実施しました。

那須塩原市のゆるキャラ「みるひい」と共に、大型スーパーで訪れた人に防犯グッズやチラシを配布し、犯罪被害防止を呼びかけました。

那須塩原地区防犯協会



特殊詐欺

連載マンガ「カメ子ちゃん」

自転車で...



木村晃代作

新賛助会員のご紹介

株式会社 とちぎテレビ	代表取締役 吉澤 文夫 様
公益財団法人栃木県保健衛生事業団	理事長 池田 清貴 様
株式会社 ブルーヒルズ	代表取締役 陳 賢徳 様
光洋建設株式会社	代表取締役 小林 正治 様
株式会社 板橋組	代表取締役 齋藤 純夫 様
ケーブルテレビ株式会社	代表取締役 高田 光浩 様
剋真建設株式会社	代表取締役 小林 克男 様
那須土木株式会社	代表取締役 玉木 茂 様
竹石建設株式会社	代表取締役社長 竹石 昭厚 様
岩澤建設株式会社	代表取締役社長 岩澤 理夫 様
栃木カネ力株式会社	代表取締役社長 大瀬戸定男 様
医療法人社団福田会福田記念病院	理事長 福田 武隼 様

～防犯協会の趣旨にご理解、ご賛同をいただき感謝申し上げます～